

6.0 通則

この章では、雑誌書誌データ全体に共通する事項を示す。

6.0A 〔適用範囲〕

この章で規定する事項は、雑誌書誌データに対して適用する。

6.0B 〔データの構成〕

書誌データは、以下の5つのブロックによって構成される。

- (1) ID&コードブロック
- (2) 記述ブロック
- (3) 変遷ブロック
- (4) リンクブロック
- (5) 主題ブロック

(例) <AN10005857>

(1)

CRTDT:19880120 RNWDT:20191009
YEAR:1987 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn
PSTAT:c FREQ:m REGL:r TYPE:p
ISSN:09133801 XISSN:00125180 NDLPN:00052975

(2)

TR:情報の科学と技術 / 情報科学技術協会 [編]||ジョウホウ ノ カガクト ギジュツ
VLYR:Vol. 37, no. 1 (1987. 1)-
PUB:東京 : 情報科学技術協会 , 1987.1-
PHYS:冊 ; 26cm

VT:OH:The journal of Information Science and Technology

VT:OH:The journal of Information Science and Technology Association

VT:OH:Joho no kagaku to gijutsu

NOTE:表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不用 (ncrmedia), キャリア種別:
冊子 (ncrcarrier)

NOTE:並列タイトル追加: The journal of Information Science and Technology (42 巻 1 号
(1992))→The journal of Information Science and Technology Association (42 巻 2 号
(1992)-)

NOTE:奥付の英語タイトル追加: The journal of Information Science and Technology
Association (42 巻 1 号 (1992)-)

NOTE:奥付のローマ字タイトル追加: Joho no kagaku to gijutsu (44 巻 1 号 (1994)-)

NOTE:Vol. 37, no. 1 (1987.1)の裏表紙に「1巻1号」とあり

(3)

FID:00183500

BHNT:CF:ドクメンテーション研究 / 日本ドクメンテーション協会 <AN00172819>

(4)

AL:情報科学技術協会||ジョウホウ カガク ギジュツ キョウカイ <DA00641719> 責任刊
行者

(5)

SH:NDLSH:情報科学||ジョウホウカガク//K

各ブロックは、複数のフィールドによって構成される。

個々のフィールドのうち幾つかは、複数のデータ要素によって構成される。

各データ要素は、別項に規定する区切り記号法と、規定の順序に従って記録しなければならない。

この記録方法については、6.1以下で、書誌データの構成順序に従い、フィールドごとに説明する。

6.0C [各項の見出しの構成]

各フィールドの条項では、次のような見出し順序に従い、必要な情報を示す。

(1) [形式]

各フィールドのデータ要素名と各データ要素の入力レベル、属性、フィールド長、繰り返し数などを示す。

(2) [記述文法]

各フィールドのデータ要素の順序と区切り記号法を示す。

(3) [区切り記号]

各フィールドのデータ要素の区切り記号法について示す。

(4) [フィールド内容とデータ要素]

各フィールドのデータ要素となる事項の解説を行う。

(5) [データ要素の情報源]

各フィールドのデータ要素の情報源を示す。

(6) [データ記入及び記入例]

各フィールドの記録方法を、必要に応じてデータ要素ごとに解説し、併せて記入例を示す。

(7) [フィールドの繰り返し]

幾つかのフィールドについては、複数回繰り返すことができる。繰り返し可能な場合は、ここでその内容や条件を示す。

(8) (選択事項)

フィールドに記録される事項の中には、各参加組織が自由に選択することができるものがある。選択可能な事項がある場合は、ここでその内容や条件を示す。

(9) 《注意事項》

各フィールドの記録に際して、目録作成者が注意しなければならない事項を示す。また、[データ記入及び記入例]で示した方法が、システム上の制限などにより例外的な措置を取る場合について、その内容や条件を示す。

(10) J [関連項目]

各フィールドで、そのフィールドに関わるその他のフィールドを示す。

必要に応じ、見出しを追加、変更、省略することがある。

6.0D [情報源]

6.0D1 (識別の基盤とする号)

(初号主義)

データの記述を行う上の識別の基盤として優先的に採用されるのは、初号である。初号が入手できない場合は、入手できるものの最初の号(所蔵最古号)に基づいてデータ記入を行う。(→NCR2018 #1.6.1)

初号以外の号で記述を行った場合、識別の基盤とした号についてNOTEフィールドに記録する必要がある。

(識別の基盤とする号の修正)

情報源としての優先度は、初号に近い号ほど高くなる。従って、既存の書誌データが識別の基盤とした号よりも初号に近い号を入手した場合は、その号に基づいて書誌データの書き換えを行うことになる。

6.0D2 (記述の情報源)

記述の情報源は、NCR2018 #2.0.2.2 に準拠する。

6.0D3 (規定の情報源)

各データ要素の規定の情報源は、NCR2018 #2.1.1.1.2 等の、エレメントごとの規定に準拠する。

6.0D4 (製本時の情報源)

古い書誌群で、初号発行時の優先情報源が確認できない場合は、その後の出版で付与された巻の優先情報源を、後に出版された初号の優先情報源として扱い、他の情報源より優先する(NACSIS 独自規定)。

なお、出版時にはなく、製本時に図書館が独自に付加した部分（表紙、背等）は、情報源にはなり得ない。これらに表示されているタイトル等は、必要とする参加組織が所蔵データに記録する。

6.0D5（仮登録雑誌の取り扱い）

書誌データの入力は、現物の情報源に拠って行うことが原則であるが、新規の予約雑誌にかぎり、以下のような運用により簡略なデータを仮登録することを可能とする。（NACSIS 独自規定）

- (1) 書店カタログなどに基づき、簡略な書誌データを記録できるものとする。
- (2) このとき、その書誌データが仮登録雑誌（予約雑誌）であることを、必ず NOTE フィールドに記録する。（→ 6.2.7 F3.1 ウ）

NOTE:仮登録雑誌

- (3) 仮登録雑誌の書誌データは、現物を入手した時点で修正し、正式登録の状態とする。
- (4) 仮登録雑誌の所蔵データの年次フィールド HLYR と巻次 HLV フィールド両方に、仮登録であることを示すアスタリスク（*）を入力する。

6.0E〔データ記入〕

データ記入にあたっての、区切り記号法、誤記、誤植、脱字などの扱いについては、第 2 章図書書誌データ 2.0 D [データ記入]の規定に従う。

6.0F〔報告〕

新規書誌データを作成した場合や、書誌データを修正した場合（→ 23.0），または、タイトル変遷関係について新しい事実を発見した場合は、国立情報学研究所に報告する。

報告時に送付するものは以下のとおりである。

- (1) 報告内容についての説明（新規作成・修正・変遷報告の別、および対象書誌 ID、報告者の連絡先等）

変遷報告の場合は、変遷注記用データシート

- (2) 書誌データの詳細表示画面の画面コピー等

新規作成：作成した書誌データの画面

書誌修正：修正前の画面と、修正後の画面の両方

タイトル変遷：関連する書誌データの画面

(3) 報告の根拠となった情報源

新規作成：識別の基盤となった号の規定の情報源箇所のコピー等

タイトル変遷：タイトル変遷と考える根拠となった情報源箇所のコピー等

書誌修正：修正する根拠となった巻号・情報源箇所のコピー等

変遷前誌・後誌の作成や修正を伴う場合には併せてそのコピー等

質疑のある場合は、必要に応じて国立情報学研究所と連絡・協議を行うこととする。

報告、質疑の連絡先は、NACSIS-CAT/ILL お問い合わせを参照する。

6.0.1 タイトル変遷

逐次刊行物については、継続的に刊行される一連の刊行物全体を「逐次刊行物書誌単位」として、一つの書誌データを作成する。この書誌的記録は、刊行途中の本タイトルの変更等により、新しい著作の出現とみなされ、その体现形に対する新規の記述の作成が必要となる場合がある。これを「タイトル変遷」という。

6.0.1A [タイトル変遷の判断基準]

以下の指針に従って、タイトル変遷かどうかを判断する。タイトル変遷と判断できる場合は、新規書誌データを作成する。この方式を「個別タイトル記入方式」という。

A1 (本タイトルの変化)

本タイトルの変化に関しては、NCR2018 #2.1.1.4 に準拠する。本タイトルの変化には重要な変化と軽微な変化があり、軽微な変化に該当しない重要な変化の場合にタイトル変遷と判断する。

判断に迷う場合は、軽微な変化とする。ただし、出版者によるタイトルの変更の意思を示す証拠がない場合に限る。各条項番号およびその採否については、以下のとおりである。

A1.1 重要な変化

NCR2018 #2.1.1.4.1 に従い、以下の場合を重要な変化とみなす。

(1) 本タイトルが単語に区切らずに表記する言語・文字種（日本語、中国語等）から成る場合に、いずれかの単語に変化、追加または削除があるか、語順の変化があり、その結果、本タイトルの意味が変わったり、異なる主題を示すものとなったとき

相談学研究 → カウンセリング研究

(2) 本タイトルが単語に区切って表記する言語・文字種（英語等）から成る場合に、冠詞を除いて先頭から 5 番目までの単語に変化、追加または削除があるか、その範囲で語順に変化があったとき

Journalism quarterly → Journalism & mass communication quarterly

(3) 本タイトルが単語に区切って表記する言語・文字種（英語等）から成る場合に、冠詞を除いて先頭から 6 番目以降の単語に変化、追加または削除があり、その結果、本タイトルの意味が変わったり、異なる主題を示すものとなったとき

Advances in enzymology and related subjects of biochemistry

→Advances in enzymology and related areas of molecular biology

(4) イニシャルまたは頭字語が変わったとき

(5) 言語が変わったとき

(6) 本タイトルに含まれる団体名に変化があり、変化後の団体が別の団体を示すものとなったとき

電子通信学会誌 → 電子情報通信学会誌

Journal of research of the National Bureau of Standards

→Journal of research of the National Institute of Standards and Technology

(7) 逐次刊行物全体の順序づけを表す表示に変化があったとき

年代順のシリーズ表示等、逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の追加・削除・変化が巻次変更に伴って生じた場合は、重要な変化とみなす。(NACSIS 独自規定) (→ 6.2.1 F2.8., 6.2.1 F2.9)

西洋史研究 → 西洋史研究. 新輯

Endeavour → Endeavour. New Series

A1.2 軽微な変化

NCR2018 #2.1.1.4.2 に従い、以下の場合を軽微な変化とみなす。

(1) 本タイトルが単語に区切らずに表記する言語・文字種（日本語、中国語等）から成る場合に、助詞、接続詞、接尾語に変化、追加または削除があったとき

中国土地改良 → 中国の土地改良

(2) 本タイトルが単語に区切らずに表記する言語・文字種（日本語、中国語等）から成る場合に、逐次刊行物の種別を示す単語について、類似の単語への変化、追加または削除があったとき

日本近代文学館ニュース → 日本近代文学館

(3) 本タイトルが単語に区切らずに表記する言語・文字種（日本語、中国語等）から成る場合に、逐次刊行物の刊行頻度の変化を伴わずに、刊行頻度を示す単語について、同義

の単語への変化、追加または削除があったとき

月刊海外経済データ → 海外経済データ

(4) 本タイトルが単語に区切って表記する言語・文字種（英語等）から成る場合に、冠詞、前置詞、接続詞またはそれに相当する単語に変化、追加または削除があったとき

Annual report of transport economy → Annual report on the transport economy

(5) 本タイトルが単語に区切って表記する言語・文字種（英語等）から成る場合に、表記方法（綴りの違い、略語・記号・符号とその展開形、数字・日付とその語句による形、ハイフンの有無、複合語の分割形と連結形、イニシャル・頭字語とその展開形、単数形と複数形のような文法的な違い、句読法の違いなど）に変化があったとき

year-book ⇔ yearbook

IC ⇔ integrated circuits

(6) 本タイトルが単語に区切って表記する言語・文字種（英語等）から成る場合に、逐次刊行物の種別を示す単語に追加または削除があったとき

Minnesota history bulletin → Minnesota history

(7) 本タイトルが単語に区切って表記する言語・文字種（英語等）から成る場合に、順序表示と結びつける単語に変化、追加または削除があったとき

Programme of work → Programme of work for ...

(8) 規則的なパターンに従って巻号単位で複数のタイトルを使い分けているとき

(9) 列記されている複数語について、語順の変化、単語の追加または削除が、本タイトルの意味や主題の変化につながらないとき

鹿児島大学理学部紀要. 数学・物理学・化学 → 鹿児島大学理学部紀要. 数学・化学・物理学

Japanese journal of applied physics. Pt. 1, Regular papers, short notes & review papers

→ Japanese journal of applied physics. Pt. 1, Regular papers, brief communications & review papers

(10) 主情報源上のレイアウトの変更等に伴い、より顕著に表示されているタイトルが交替したとき

主情報源上のレイアウトの変更等に伴い、より顕著に表示されているタイトルが交替した場合、従来からの本タイトルが主情報源上に表示されているかぎり、軽微な変化とみなす。

NCR2018 # 2.1.1.4.2 k) では適用を本タイトル/並列タイトルの交替にかぎっているが、顕著に表示されているタイトルの交替全般に適用する。(NACSIS 独自規定)

(11) 言語の変化がなく、文字種の変化があったとき

NTT ファシリティーズジャーナル → NTT ファシリティーズ journal

View かんざき → View 神崎

韓國의中小企業 → 한국의 중소기업

(12) 本タイトルに含まれる団体名の表記に微細な変化、追加または削除があるか、他の単語との関係の変化があったとき

ただし、微細な変化、追加または削除であっても、団体名称の変更に伴うものである場合は、軽微な変化とみなさない。(NACSIS 独自規定)

沖縄生物教育研究会誌 → 沖生教研会誌

Berichte der Gesellschaft für Mathematik und Datenverarbeitung → GMD-Bericht

(13) 主要でない語の変化

その他、タイトルの意味内容や主題に変化を及ぼさない主要でない語が変化、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

県民所得推計結果報告書 → 県民所得推計報告書

上記、重要な変化としないものおよび軽微な変化となるものは、VT フィールドに LT として記録し、NOTE フィールドに巻次・年月次とともに記録する。アクセス上必要がないものは NOTE フィールドのみに記録してもよい。(→ 6.2.6 F6, 6.2.7 F3.2.1)

ただし、上記 A1.2 の軽微な変化の規定に関して、書誌の同定・運用上特に必要と認められる場合には、タイトル変遷とみなすこととする (NACSIS 独自規定)。

A2 (責任表示の変化)

刊行途中に責任表示に変化・追加・削除があった場合は、タイトル変遷とみなさず、新

別書誌データは作成しない。

それらは NOTE フィールドに記録し、AL フィールドまたは該当著者名典拠データの SF フィールド等に記録する。(→ 6.2.1 F5.3, 6.2.7 F3.2.2 イ)

ただし、NCR2018 の#2.2.0.6 に従い、本タイトルが総称的で、その責任表示の表記に微細な変化、追加または削除以外の変化があった場合は、タイトル変遷とみなす。(→ 6.2.1 F5.5, 6.0.3)

A3 (並列タイトルの変化)

刊行途中に並列タイトルに変化・追加・削除があった場合は、タイトル変遷とみなさず、別書誌データは作成しない。それら並列タイトルは、NOTE フィールド (必要があれば VT フィールド) に記録する。(→ 6.2.1 F3.5, 6.2.7 F3.2.1 ウ)

A4 (タイトル関連情報の変化)

刊行途中にタイトル関連情報に変化・追加・削除があった場合は、タイトル変遷とみなさず、別書誌データは作成しない。それらタイトル関連情報は、NOTE フィールド (必要があれば VT フィールド) に記録する。(→ 6.2.1 F4.6, 6.2.7 F3.2.1 エ)

ただし、本タイトルが簡略形で、タイトル関連情報がその展開形である場合は、タイトル関連情報の変更・追加はタイトル変遷とみなして、別書誌データを作成する。(NACSIS 独自規定)

A5 (版表示の変化)

刊行途中に版表示に対象範囲や主題が変わったことを示す変化がある場合は、タイトル変遷とみなし新規データを作成する。版表示の表現上の変化の場合、タイトル変遷とみなさず、変化後の版表示を注記する。(→ 6.2.2 H1, 6.2.7 F3.2.3)

A6 (順序表示 (巻次・年月次) の変化)

刊行途中に順序表示に変化・追加があった場合は、タイトル変遷とはみなさず、別書誌データは作成しない。巻次変更として、VLYR フィールドに記録する。(→ 6.2.3 F4)

A7 (出版表示・頒布表示等の変化)

刊行途中での出版地、出版者の変化・追加など、出版表示・頒布表示等だけに相違が発生しても、別書誌データは作成しない。変化後の出版表示・頒布表示等は、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.4 F2.6, F3.6, 6.2.7 F3.2.5 ア), イ)

A8 (一時的な変化)

タイトル変遷とみなすデータ要素の変化が一時的で、すぐに元のタイトルに戻ったとしても、変化があった都度に各々別書誌データを作成する。

TR:Elektrowärme (vol. 1–13) → TR:Gas und Elektrowärme (vol. 14)
→ TR:Elektrowärme (vol. 15–19)

6.0.1B [タイトル変遷の種類]

タイトル変遷には、次のような種類がある。

B1 (継続)

ある雑誌 (A) のタイトルが変更し別のタイトルの雑誌 (B) となった場合、継続関係のタイトル変遷が発生したとする。

A → B

なお、A 誌と B 誌が合併して C 誌になる場合、あるいは、A 誌が分離して B 誌と C 誌になる場合もこの継続関係とみなす。

A
B → C (合併)

A → B
C (分離)

B2 (派生)

ある雑誌 (A) から別の雑誌 (B) が分離、独立して創刊され、かつ A のタイトル自体には変更がない場合に、派生関係のタイトル変遷が発生したとする。

A (引き続き存在する)
└→ B

B3 (吸収)

ある雑誌 (B) に別の雑誌 (A) が吸収され、廃刊を迎え、かつ B のタイトル自体には変更がない場合に、吸収関係のタイトル変遷が発生したとする。

A
└↓
B

6.0.1C [タイトル変遷の表現]

タイトル変遷に関する情報は、次に示す変遷ブロックの各フィールドに記録する。

1.FID

2.BHNT

6.0.1D〔変遷ブロックの記録方法〕

変遷ブロックの FID フィールド、BHNT フィールドへの記録は、参加館からの報告に基づいて国立情報学研究所が行う。変遷関係が生じた場合は、速やかに「変遷注記用データシート」を作成し、情報源のコピーとともに国立情報学研究所宛てに送付するものとする。

(→ 6.0 F)

なお情報源は、和雑誌の場合、変遷前誌の終号、変遷後誌の初号の表紙が規定のものであるが、タイトル・ページ、背、奥付等と表記が異なる場合は、それらも送付する。

6.0.3 総称的タイトル

逐次刊行物のタイトルが総称的な語からなる場合、他の逐次刊行物との識別を容易にするため、TR フィールドには必ず責任表示を記録する。(→ 6.2.1F5.4, 6.2.1F5.5)

6.0.3A 〔判定基準〕

総称的なタイトルであるかどうかの判定は、LC における次の判定基準に準拠して行う (Cataloging service, Bulletin.112, p.10-11)。

1.ISDS における総称的な語の定義は、「出版物の種類および（または）頻度を示すもの」である。各々の判断は、この定義に拠るものとする。

(例)

会議録 月報 速報
会誌 研究 年報
会報 研究報告 プログラム
概要 広報 報告
季報 雑誌 報告書
紀要 資料 要覧
機関誌 (紙) 技報 (技術報告) 資料集 通信
統計 統計年報 ニュースレター 年鑑
年次報告 レポート 論集 資料図録
博士学位論文 ディスクロージャー誌
研究紀要 研究年報 調査月報 調査レポート
試験成績書 事業概要 事業年報 事業資料集
業務概要 業務年報 業務成績報告書 実践集
実践集録 実践報告 実践報告集

Annual conference proceedings

Annual report

Bulletin

Circular

Journal

Membership directory

Occasional newsletter

Official report

Pamphlet

Preliminary report

Proceedings of the conference

Program
Record
Research paper
Review
Special report
Transactions

2. タイトル中に主題内容や範囲を示す語を含む（あるいはこれらの語によって構成されている）場合は，総称的とはみなさない。

（例）

近代文学研究
経済
経営研究
人類学研究
天文学
行動科学研究
化学雑誌
科学
医学中央雑誌
Anthropological reports
Seismological bulletin
Astronomy
Behavioral science series
Chemical bulletin
Clinical science
Science bulletin
Medical series bulletin

3. タイトル中に出版物の頻度または種類を示す語以外のものを含む場合は，通常総称的タイトルとみなさない。

（例）

熊本市勢要覧
健康管理年報
Average monthly weather outlook
External trade statistics

Employment statistics
Nationalities papers
Staff papers series
Services and organization guide
Summary of general legislation
Technical services program
Training & methods series
Tutorial lecture series
State salary survey

4.洋資料については、タイトルが頭字語やイニシャル語を含む（あるいはそれらで構成されている）場合、総称的とみなさない。

（例）

B.E.A. staff paper
B.I.S. report
Research report ADM
Bulletin GT

5.洋資料については、一般的に、タイトルが 5 語より多い語（重要でない語は除く）で構成されている場合、総称的とみなさない。

（例）

Directory of faculty,professional and administrative staff,and students
Appropriation statements by departments and agencies,all funds
Annual descriptive report of program activities for vocational education

6.その語が総称的かどうか疑わしい場合、総称的とみなしてよい。